



いずみさの

No.197
2025.11.1

市議会だより



New Topics

第7回みらい泉佐野こども議会を
開催しました
令和6年度決算を認定しました

目次

- ◆ 議会活動報告..... 2～3
- ◆ 9月定例会の結果報告..... 4～7
- ◆ 一般質問 7～11
- ◆ 豆知識・ご案内 12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。 泉佐野市議会

検索



第7回みらい泉佐野こども議会

8月3日

8月3日(日)に7回目となる「みらい泉佐野こども議会」を開催しました。チラシやポスターで公募し、4組9名のこども議員さんに参加していただき、皆さんの意見に対して担当議員が答弁をしました。

「暑い夏でも子供が遊べる屋内施設を増やしてほしい」や「学校への通学を快適にしたい」、「議会でどんな仕事をしていますか」、「陸上の練習が出来る競技場がほしい」などの質問や提案などがあり、素晴らしい意見交換の場となりました。

こども議員の皆さんからいただいた意見・要望については、泉佐野市とも共有し、より良い泉佐野市をめざしてまいります。

また、こども達の声が、泉佐野市の未来を創るような機会にしていきたいと思います。



防災訓練

9月1日

9月1日(月)午前9時から、職員災害対応訓練の実施にあわせて、「泉佐野市議会業務継続計画(BCP)」に基づき防災訓練(災害対策委員会の設置)を実施しました。

安否確認方法や市内の被災状況等の情報把握などについて訓練を行いました。

また訓練後、今後の課題などについての意見交換会を実施しました。



関西エアポート株式会社様と関西国際空港の現況と関西エアポートグループの環境の取り組みについて、意見交換会を実施しました。

関西国際空港の国際線旅客の特性として、中国・韓国をはじめとしたアジア圏からの旅客が多く、国際旅客定期便数も増加しているとのことでした。

また、関西エアポートグループでは、「環境ビジョン2050・環境目標2030」を掲げ、関西エアポートグループが長期的にめざす姿と、その達成に向けたマイルストーンとなる具体的な目標を設定し、脱炭素を含めた環境への各取り組みを推進されていました。

関西エアポート株式会社の方々との意見交換会を行った後に、空港内に設置され、空港内の廃棄物を処理しているクリーンセンターを視察させていただきました。



議員研修

8月1日 大阪府南部市議会議長会議員研修会

令和7年度大阪府南部市議会議長会議員研修会が開催されました。元流山市政策法務室長で、弁護士の帖佐直美氏に「ハラスメントー自治体議員が注意すべきポイントー」というテーマでご講義していただきました。



9月2日 泉佐野市議会議員研修会

地方独立行政法人りんくう総合医療センター診療局次長（兼）内科統括（兼）総合内科・感染症内科主任部長（兼）感染症センター長（兼）臨床研修センター長（兼）院内感染対策室長（兼）産業医の倭正也氏を講師にお招きし、「国内外における新興感染症の現状と事前対策について」というテーマで議員研修会を開催しました。

コロナウイルスを含む新興感染症の現状や実際の医療現場での対策などについてお話しいただきました。



9月定例会を開催

議案
第61号

令和7年度泉佐野市一般会計 補正予算(第5号)

可決
全会一致

総務産業委員会関係

●市庁舎周辺整備事業 庭園移設工事費 1,400万円

令和8年度から着工を予定している(仮称)みらい安心センターの建設工事の支障となる本庁舎正面玄関横にある日本庭園の灯籠、石材、石橋等をりんくうタウン駅の駅前広場に移設し、枯山水庭園を整備するものです。

●土地取得事業 用地買収費 10億8,850万円

2018年付で売却したりんくう中央公園用地開発事業の土地について、予定されていたMICE複合施設の工事が、契約日から7年を経過する日までに開始されなかったため、条項により土地買戻しを行うものです。売買代金15億5,500万円から違約金4億6,650万円を控除した金額です。

●葵町公園防災拠点整備事業 540万円

葵中央公園の防災機能強化のため、災害時に避難行動要支援者等が容易に避難できるように、公園の休憩所を兼ねた防災拠点を整備するものです。平常時は公園の休憩所として使用し、災害時は緊急避難場所や自主防災組織の活動拠点として活用するものです。

総務産業委員会に付託されました主な内容を報告させて頂きました。

厚生文教委員会関係

出産、育児に対する安心感向上と医療の適正利用を促し、内密出産に至る前に適切な支援につなぐ等行う為に「妊産婦オンライン相談窓口の設置」、保護者の経済的負担を軽減する「新小学1年生へのランドセル購入費支援」、「小・中学校学級費の補助」等、多くの議案が審議されました。

厚生文教委員会に付託されました主な内容を報告させて頂きました。

議案
第53号

財産の取得について

可決
全会一致

上町三丁目の元商業スーパー跡地に航空会社社員寮として、令和9年1月完成予定の建物を買入れる議案です。鉄筋コンクリート造7階建ての共同住宅で、買入れ価格は19億8,660万円です。

議案
第54号

泉佐野市公園条例の一部を改正する 条例制定について

可決
全会一致

現在大阪府が管理している泉佐野丘陵緑地の移管を受け、指定管理者による管理を行うための条例改正を行う議案です。会議室の利用料などを定めています。

議案
第60号

泉佐野市乳児等通園支援事業の設備 及び運営に関する基準を定める 条例制定について

可決
全会一致

「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律（令和6年法律第47号）」により、児童福祉法の一部が改正され、「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」が創設されました。

●こども誰でも通園制度の概要

生後6か月から満3歳未満で保育所等に通っていないこどもを対象に、保護者の就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる新たな制度です。

認定
第1～9号

決算特別委員会

可決
全会一致

令和6年度泉佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について

令和6年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

令和6年度泉佐野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

令和6年度泉佐野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

令和6年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

令和6年度泉佐野市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算の認定について

令和6年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について

令和6年度泉佐野市水道事業会計決算の認定について

令和6年度泉佐野市下水道事業会計決算の認定について

令和6年度は、物価及び賃金の緩やかな上昇がみられた一方、海外の地政学的な要因による輸入物価の上昇や人手不足の顕在化等により、先行きは依然として不透明な要素が残されたものの、総じて底堅い成長を維持した1年となりました。

決算結果につきましては、一般会計及び特別会計で歳入1,148億8,602万6,322円、歳出1,144億1,388万608円でした。

結果、歳入歳出差引額は4億7,214万5,714円となりましたが、翌年度に繰り越すべき財源2,473万4,000円で実質収支は4億4,741万1,714円の黒字となりました。しかしながら、単年度収支額においては3億3,334万1,839円の赤字となりましたが、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計において、前年度繰越金の活用や財政安定化支援事業の

（次ページに続く）

一部繰入れ、介護保険給付準備基金の取崩しを行ったこと等により、実質収支において均衡が図られました。詳しくは下記の決算総括表をご覧ください。

決算総括表 (単位:円)

区 分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	単年度収支額
一般会計		88,055,536,688	87,700,189,263	355,347,425	24,734,000	330,613,425	72,033,125
特別会計	国民健康保険事業	10,588,773,528	10,573,856,111	14,917,417	0	14,917,417	△ 222,056,813
	公共用地先行取得事業	873,105,280	873,105,280	0	0	0	0
	介護保険事業	10,532,673,974	10,435,867,825	96,806,149	0	96,806,149	△ 177,078,043
	後期高齢者医療事業	1,638,303,900	1,633,229,177	5,074,723	0	5,074,723	△ 6,240,108
	病院事業債管理	2,961,846,888	2,961,846,888	0	0	0	0
	りんくう公園事業	235,786,064	235,786,064	0	0	0	0
合 計		114,886,026,322	114,413,880,608	472,145,714	24,734,000	447,411,714	△ 333,341,839



議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第51号	泉佐野市附属機関条例の一部を改正する条例制定について
議案第52号	泉佐野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第55号	令和6年度泉佐野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和6年度泉佐野市水道事業会計未処分利益剰余金4億312万6,369円のうち1億6,062万2,052円を建設改良積立金に積み立て、2億4,250万4,317円を資本金に組み入れるものです。
議案第56号	令和6年度泉佐野市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和6年度泉佐野市下水道事業会計未処分利益剰余金7億1,328万7,077円のうち2億6,799万420円を建設改良積立金に積み立て、4億4,529万6,657円を資本金に組み入れるものです。

議案番号	案 件
議案第57号	泉佐野市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
議案第58号	企業職員の給与等の種類及び基準についての条例の一部を改正する条例制定について
議案第59号	泉佐野市下水道条例の一部を改正する条例制定について
議案第62号	令和7年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,016万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ108億3,329万3,000円とするものです。
議案第63号	令和7年度泉佐野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億198万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ104億141万9,000円とするものです。
議案第64号	令和7年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ418万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ16億5,458万1,000円とするものです。
議案第65号	教育委員会委員任命についての同意を求めることについて 谷口朋さんを任命することに同意しました。



一般質問

議員が市の一般事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問します。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて30分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます。

各議員の一般質問の内容は、本会議での発言を要約しています。質問の全内容は、泉佐野市議会ホームページの「議会ライブ中継・録画配信」、または「会議録検索」(11月末日配信予定)をご覧ください。



◀ 議会中継のQRコード



A 制服及びランドセルなどの新入学時に準備するための支援として、新入学学用品費等を支援しております。支援額は、国の補助上限額と同額を上限として対象世帯に支給しています。また、新入学準備金給付事業として、翌年度に小学校新入学児がいる世帯に対し、1名につき2万円を支給する予定です。

Q 制服やランドセルの購入支援について伺う。

学校教育について

り、外国人住民の自立と社会参画を見据えた多様なサポートを時宜に応じて実施していく必要があると考えております。

A 本市の外国人人口は4,000人を超え、市内人口の4%以上を占め、今後も増加が見込まれます。現在、就学・就労をはじめ各種支援等に取り組んでいます。地域社会の担い手として外国人材が期待されており、外国人住民の自立と社会参画を見据えた多様なサポートを時宜に応じて実施していく必要があると考えております。

Q 今後も増えると予想される外国人との多文化共生について伺う。

人口について

大阪維新の会
泉佐野市会議員団 代表
峰浦 修平 議員



・人口について
・学校教育について

・地域猫活動について
・大阪・関西万博について
・奨学金返還支援について
・防災について
・職員について
・広域連携について

Q 動物飼育の意義、現状と今後について伺う。

A 学校における動物飼育には、命の尊厳と責任感の育成など多様な意義があります。本市では、市内2校で計25羽のウサギを飼育していますが、教職員や児童生徒の負担、衛生・安全面などの問題を考慮しながら、教育全体の中で情操教育等を育んでまいります。



地域猫活動について

Q 地域の方々にご理解いただくための啓発活動について伺う。

A 本市では、地域猫の考え方、餌やり等のルールなどについて、ホームページに掲載しており、広報紙や啓発チラシに加え、SNSなどを活用した多様な形での周知・啓発に努めてまいります。



大阪関西万博について

Q 万博の意義や価値を今後どう活かすのかについて伺う。

A 「万博サーキュラーマーケットミヤク市」では、パビリオンや展示物などの移築やリユースのマッチングや入札が行われ、本市では、市有施設などで有効活用が可能か、資源循環への貢献という観点から譲渡の希望について検討しており、万博開催によるソフト、ハード双方のレガシーを地域課題解決や多様な価値の創出のツールとして最大限活用してまいります。

奨学金返還支援について

Q 現在の進捗について、特に利用者の多い日本学生支援機構の奨学金は対象となるのか伺う。

A 奨学金を受給する学生の半数以上が日本学生支援機構を利用していますので、来年度実施を予定している返還支援の対象とする奨学金は、本市独自の泉佐野市奨学金のほか、日本学生支援機構の奨学金を含め、幅広い奨学金を対象とするよう

検討してまいります。

防災について

Q 大阪市内のビル火災を受けた本市の対策について伺う。

A 本市の消防検査を含む消防に関する事務は、本市を含む3市3町で組織する泉州南消防組合が共同処理しており、市内の防火対象物、危険物施設などに対し、定期的に立入検査を行い、大阪市のビル火災のような類似火災が発生しないよう指導に努めています。



広域連携について

Q 現在の取り組みについて伺う。

A 広域連携は、行政が主体となるものと民間団体が主体となるものがあり、各種勉強会や研究会を通じて、広域連携の方策などについて多様な組織体で多彩な連携方法の研究・検討がなされています。

公明党
泉佐野市会議員団 代表
松村 正秀 議員



障がい者支援について

Q 手話施策推進法の施行に伴う本市の取組をお聞かせ下さい。

A 本市では令和4年12月に「泉佐野市手話言語条例」を制定し、法律が制定される前より、市内小中学校における手話学習の支援、登録手話通訳者の派遣、手話講座の開講、広報いずみさのに毎月掲載される「ワンポイント手話」や例年1月に中央図書館に設置される手話コーナーなどの啓発活動など、手話に関する施策に取り組んでまいりました。また、今年11月15日から26日まで「東京2025デフリンピック」が開催されますが、本市出身の方がビーチバレーボール日本代表選手に選出されたこともあり、広報いずみさのに記事を掲載するなど大会の周知に努めております。



・障がい者支援について
・教育について

・子育て支援について
・商工業振興について
・投票所での対応、利便性について

子育て支援について

Q 母親一人でも気兼ねなく使用して頂く為、公共施設の授乳室に「搾乳マーク」掲出を要望したい。

A 現在、本市には赤ちゃんを連れている保護者の方が外出先で授乳やおむつ替えのために利用できる「赤ちゃんの駅」が市内に39カ所あります。今後も、社会全体で搾乳に対する知識や理解を深めるとともに、赤ちゃんの駅に登録されている関係部署や民間施設へ協力を依頼し、「搾乳マーク」の掲出を進めるとともに、趣旨等についての周知にも努めてまいります。



投票所での対応、利便性について

Q 投票所で高齢者や障がいのある方へ円滑に投票できる「投票支援カード」等導入して欲しい。

A 投票所で必要な支援を口頭で伝えることが難しい方や苦手な方が、事前若しくはその場で、カードに記入して投票所の係員に伝える「投票支援カード」や投票所で必要と想定される支援をイラストなどで表示した「コミュニケーションボード」投票所で投票用紙に記入する際に枠が分かりやすく使用できる補助具「投票用紙記入補助具」は、安心して投票していただくための有効なツールと考えております。現在、本市選挙管理委員会での導入実績はありませんが、導入に向けて検討を進め、誰もがより投票しやすい環境づくりに努めてまいります。



自由民主党

泉佐野市会議員団 代表

高橋 圭子 議員



子育て支援について

Q 本市にも泉南市にある「りるば」のような室内施設を本市にも新設いただけませんか？

A 「りるば」は、乳幼児がいつでも遊ぶことのできる室内施設ですが、現在市内3か所の地域子育て支援センターでは、子育て家庭に対し遊びや交流の場の提供をしております。また、令和10年10月完成予定である庁舎本館横に新設する、みらい安心センター内にも、乳幼児が自由に遊ぶことができるスペースを設置する予定です。

Q みらい安心センターの3階にできる「遊びスペース」は、どのような施設になる予定ですか？

A 乳幼児の五感を育むため、木製の遊具や道具に触れたり、親子や小中学生が世代間交流ができるスペースにしていきたいと考えています。

介護給付の適正化事業のケアプラン点検について

Q ヒアリング及び準備に時間を要するケアプラン点検の必要性に

・子育て支援について
・介護給付の適正化事業について
・投票済証明書について

ついて教えてください。

A 本市におきましては、適切な介護サービスの確保と制度の信頼感を高めるとともに、不適切な給付や保険料の増大を抑制し、持続可能な制度の構築を図ることを目的としたケアプラン点検等の適正化事業に取り組んでおります。

本事業は介護事業所の生産性の向上、利用者へのサービス提供の質の向上にも影響する重要なものであり、今後も継続してまいります。



投票済証明書について

Q 選挙啓発のひとつとして、投票済証明書のデザイン等の工夫をする自治体が増加しております。本市も変更いただけませんか？

A 現在のデザインは長期間変更していない状況ですので、今後は、イヌナギンを取り入れるなど本市独自のデザインの変更に向け、検討を進めてまいりたいと考えております。

新緑未来 代表

布田 拓也 議員



契約検査課ではなぜ工事以外の契約の検査を行わないのか

Q 市の財政規模が拡大し、業務委託が増えている。ふるさと納税が減収になった時に財政が大丈夫なのか不安に思う。工事以外の契約検査を行わないのはなぜか？

A 業務委託契約は、各事業の目的に応じて多岐にわたり様々であることから、契約内容どおりに適正に履行されているかのチェックが重要となります。そのため契約内容を熟知し、契約を締結した担当課で検査を実施する方が効率的で合理的であると考えています。

Q 業務委託や補助金も効果や適切性を評価検証するべきでは？

A 担当課では評価検証を行い必要性や効果を検証しており、また毎年当初予算査定時には、泉佐野市補助金等交付規則に基づき公益性や有効性などの評価検証を行っています。しかし、5年を目途に見直すなどの検証はできていないため、今後その方法を研究してまいりたいと考えています。

・契約検査課ではなぜ工事以外の契約の検査を行わないのか
・フリースクール補助金はなぜ本年6月まで公募情報を公開しなかったのか
・オーガニックビレッジ宣言と遊休農地の積極活用
・こども医療費助成制度の改革

フリースクール補助金はなぜ公募情報を公開しなかったのか

Q 不登校児童生徒は272人まで急増。フリースクール等に通う費用は高く、利用者支援を3年前から求めてきたが、市は運営事業者補助金のみを実施し一団体を補助。しかし補助金広報を行なわなかったのはなぜか？利用者支援を求める。

A フリースクール支援事業補助金は、令和5年11月の創設時、顕著に増加する不登校に対する緊急的対策として開始し、該当施設は市内で1施設であったとはいえ、本年6月まで情報公開が出来ておらず、お詫び申し上げます。補助金の趣旨は、不登校児童・生徒が通いやすい市内施設の設置者に対し、活動のために経費の一部を助成することにより、持続可能な運営支援し、学校復帰や社会的自立に資すること、利用者の負担軽減を図る目的で民間施設のガイドラインを策定し、官民での居場所を支援しています。



チーム泉佐野創生 代表
野口 新一 議員



りんくうEXPOと大阪・関西万博について

Q 大阪・関西万博を契機に市の新たなシンボルとなるモニユメント「そらたま」が完成しました。また「かじりJAPAN」、りんくうEXPO等で令和6年度決算額7,234万8,332円、令和7年度予算額4億9,671万3千円という巨額の投資してきた市の今後の戦略について伺います。

A ミヤクミヤク像を含めた万博会場内の各施設や設備などは、「万博サーキュラーマーケットミヤク市」において、リユース率を高めることを目的として、移築先などの公募が行われています。本市も、市有施設などの受け入れ側の必要性に合わせ、レガシーやサステナブルな社会に貢献するためにも、調達とその有効性について検討しており、万博開催と万博への参加で創出される様々なレガシーを地域の活性化を促進するためのツールとして活用してまいりたいと考えています。



りんくうEXPOと大阪・関西万博について
・「国際都市いずみさの」における多文化共生について

「国際都市いずみさの」における多文化共生について

Q 国際化を図ることで、人権意識や国際感覚を育て、人口増や経済の好循環など様々なメリットが考えられる一方、地域の住民にとって様々な不満や不安を生じるデメリットも起こり始めていますが、対応策について伺います。

A 本市では、多文化共生社会に向けた国際理解の促進への取り組みとして、海外友好都市との交流等を進めている一方で、多くの外国人が暮らすようになり、言語の壁、文化・習慣の違いなどの課題から、多文化共生には、お互いの文化や習慣の違いを知って理解し合い、多様性を受け入れることが必要です。一方で、地域コミュニティにおけるトラブルも増加傾向にあり、現状では一元的な対応を行う部署がなく、個別具体的な問題に応じて、それぞれの署が窓口となっていることから、今後対応窓口設置の実現に向けて進めてまいりたいと考えています。



・防犯灯について

防犯灯について

Q 今後は市の管理・運営に一元化されるとのことですが、現在の防犯灯の設置個数、工事業者の選定方法、新規設置及び補修工事の要望の対応等、今後の予定をお伺いします。

A 本市では、令和8年4月から予定している防犯灯の一括管理に向けて、準備を進めています。現在設置されている防犯灯は約9,000灯で、約8割がLED化を達しており、今後は計画的にLED化を推進してまいります。防犯灯の設置や補修をする工事業者の選定は、地域の事情をよく理解している業者を活用し、工事や補修が迅速かつ効率的に進められるようにしてまいります。一括管理に伴う新たな防犯灯の設置や補修工事の要望については、各町会・自治会への調査を進めており、調査結果を踏まえ、要望に関する受付窓口や対応手順などについて検討してまいります。



中庄谷 栄孝 議員

・障がい児支援について
・市営住宅について

障がい児支援について

Q 障がい児福祉サービスの所得制限の撤廃は出来ないでしょうか。

A 利用者の軽減措置や所得制限撤廃については、地域による差異が生じないよう、統一的にすべき問題であると認識していますので、国に対し要望してまいります。

市営住宅について

Q 市営住宅の申し込みを年複数回にできないでしょうか。

A 近年の市営住宅の申込み状況を踏まえ、これまでの7月募集に加え、もう一回募集回数を追加し、年2回の募集へと変更する予定です。

Q 申し込み審査の加点の方法を見直して頂けませんか。

A 住宅困窮度の高い高齢者や障がい者世帯などで、何度も申し込みをしても当選しなかった世帯等については、加点内容の見直しなどを検討し入居しやすい仕組みづくりを検討して参りたいと思います。

辻中 隆 議員

・教育について
・戦後80年、今後の市の平和に対する取り組みについて
・投票所の柔軟な見直しについて

投票所の柔軟な見直しについて

Q 自宅から投票所への距離が離れている場合の高齢者、障がい者の方々が投票しやすい環境づくりとして、近くの投票所に行けないのか？また、見直しができないのであれば、個別の移動支援策を検討するべきではないか？

A 選挙管理委員会では、国の基準に基づき、従来から存在する町や字の区域に基づく行政区ごとに投票区を設定しており、有権者数や投票所個別の事情などにより適宜適正に見直しを行っておりますが、指定された投票所より隣接区の投票所の方が距離的に近い区域をゼロにすることは難しい状況です。また、現在、近隣市の都市部で送迎用の車両を導入している事例はなく、導入するとなれば、運行ルート、公平性の確保など多くの課題があります。他市の導入事例を参考に、これらの課題について研究し、実施に向けて検討してまいります。



その他の一般質問

中村 慎作 議員

・コミュニティバス等、公共交通機関の充実を
・子どもが涼しく安全に遊べる遊び場について



※議員間の申し合わせにより、個人質問は年間2回まで希望の号に掲載し、それ以外の号は質問項目のみを掲載しています。



豆知識

市議会の視察について

泉佐野市議会では、市民の皆さんの生活をより良くするための政策に生かすため、予算の範囲内で視察を行っています。

市議会議員による視察

各常任委員会（総務産業委員会、厚生文教委員会）では、年に一度、宿泊を伴う管外視察を実施しています。また、国際戦略調査研究委員会では、友好都市である韓国大邱広域市寿城区を訪れ、視察を行いました。

さらに、これらの委員会やその他の委員会でも、市内各施設を対象とした管内視察を随時実施しています。視察先では、施設の調査や関係者との意見交換を行い、日々の議論に役立てています。

他の自治体からの視察受入れ

泉佐野市は、全国の自治体からの視察を積極的に受け入れています。昨年度は、27件の合計177名の方が来られました。特に、ふるさと納税制度に関する視察が多く、年々その件数は増加しています。



市議会を傍聴しませんか

◆12月定例会の日程表◆

- 12月 2日(火) 本会議
- 12月 3日(水) 総務産業委員会
- 12月 4日(木) 厚生文教委員会
- 12月10日(水) 関空りんくうまちづくり特別委員会
- 12月11日(木) 行財政委員会
- 12月17日(水) 本会議
- 12月18日(木) 本会議
- 12月19日(金) 本会議

※午前10時開会予定です。ただし、10日につきましては、午後2時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

※手話通訳をご希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。

表紙の写真



第7回みらい泉佐野こども議会を開催しました。

市議会だより編集委員

委員長	中庄谷栄孝
副委員長	大庭聖一
委員	布田拓也
	向江英雄
	日根野谷和人
	西野辰也

●お問い合わせ

泉佐野市議会事務局

●発行 / 泉佐野市議会

〒598-8550

泉佐野市市場東1丁目1-1

●編集 / 市議会だより編集委員会

Eメール gikai@city.izumisano.lg.jp

電話:072-429-9358 FAX:072-462-5918